

## 本文のイメージ

### 第4章 協働によって期待される効果~~は~~（赤字部分が修正・追加したところ）

- ・協働の効果とは、協働することによって、得られる相乗効果、波及効果にある。協働することによって、異質な主体が互いに不足する部分を補い合ったり協力し合ったりすることで、個々に取り組んだ結果得られる効果以上の効果を得ることができる。また、それぞれの主体に対する効果、さらに社会全体へ波及する効果もある。
- ・立場や価値観が異なる相手と協働することによって、コミュニケーション能力が高まり、視野が広がる。また市民は、公共サービスの受け手であると同時にその担い手になる可能性も持っている。協働事業の中で、地域の課題が明らかになり、参加型の解決方法が示されれば、その人自身が、地域課題の解決や自治を担う人材になる契機となる。市民の持っている自助・共助の精神や自治の力を伸ばすことができれば、地域力が高まり、地域全体として課題解決能力（自治能力）が高まる。

#### 1 区自治協議会

- ・区民の皆さまと市との協働の要として、多様な意見を調整して、その取りまとめができるようになる。

#### 2 地域コミュニティ協議会

- ・市の機関との役割分担・責任分担により、社会的使命をより効果的に実現することが可能になる。
- ・活動の場や機会が広がり、組織運営の活発化や充実を図ることができる。
- ・市の機関との協働を通じ、活動に対する社会的理解や信用が高まることが期待できる。

#### 3 自治会・町内会

- ・市民がその経験や知識を活かすことにより、地域コミュニティ活動を活性化することができる。
- ・市民・コミュニティ・行政のそれぞれの活動主体が責任を持って解決に取り組むことにより、住みよいまちづくりができるようになる。

#### 4 ~~NPO 法人・NPO~~（NPO 法人，市民活動団体，ボランティア団体）

- ・自らの特性を活かしながら、理念や使命をより効果的に実現することができる。
- ・会計処理や事業報告などを適切に行う必要が生まれ、責任ある体制でサービスが提供できるようになる。
- ・協働領域の広がりに伴い、新たな活動の場も広がる。

#### 5 民間企業

- ・地域貢献することで、市民からの信頼が高まり、企業のイメージアップにつながる。

#### 6 市民

- ・きめ細やかで柔軟なサービスを受けられるようになる。
- ・行政への関心が高まり、市政が市民により身近に感じられるようになる。
- ・多様なキャリアを持つ市民の活躍の場や、新しい雇用機会の拡大が期待できる。

#### 7 市

- ・~~地域コミュニティ協議会~~や NPO 等の特性を活かすことにより、多様化する公共的な課題に対応できる。
- ・異なる発想・行動原理を持つ組織との協働によって、行政の体質改善の契機となる。
- ・~~地域コミュニティ協議会~~や NPO 等と行政の役割分担のもと、事業の見直しなどにより、サービスの効率化や質的向上、行政機能のスリム化など行政全般の効率化が図られる。